



那須塩原市にあるもう一つの博物館
田園空間博物館だより
なすの大地 第27号

2016年3月号（通巻第27号）

那須野が原西部田園空間博物館運営協議会 発行

当誌は「**那須野が原西部田園空間博物館運営協議会**」の広報誌です。当運営協議会は「**那須野が原西部田園空間博物館**」の管理、運営を行っています。

1. 那須野が原西部田園空間博物館とは

那須野が原西部地区（西那須野地区、塩原の横林・接骨木地区）の豊かな自然景観や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たて、「**屋根のない博物館**」として地域全体をとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・活用・復元し、地域の活性化を目指すもので、県内では唯一の博物館です。

2. サテライトについて

サテライトは、地域の名所・旧跡や自然景観等を博物館の展示物に見立てたものです。地域ごとにフットパス（巡回ルート）で結ばれ、**ルートを巡って散策を楽しむことができます。**

本号ではこれから春を迎えるにあたり、花が咲くサテライトをいくつか紹介させていただきます。詳細な場所については、次頁で紹介しております**サテライト地域マップ**をご参照ください。

また、3頁にサテライトの「**墓沼（ひきぬま）用水**」について特集記事を掲載しております。



新南のエドヒガンザクラ

幹回り3.3m、推定樹齢200年で、春先に美しいピンクの花を咲かせます。地元の方々によって周辺が整備されています。

（大山地区・新南）



温泉神社のなんじゃもんじゃの木

この木はヒトツバタゴという種類で愛知や岐阜・対馬に自生する珍しい木です。5月頃に白い花を咲かせます。

（狩野地区・高柳）



高原山のビュースポット

北海道を思わせる牧草地の中にぽつんと立つ1本の大きなコブシを前景に高原山が雄大にそびえるさまは感動的です。例年4月下旬に開花します。

（横接地区・千本松）



常盤が丘と杏の里

那須野が原開拓の恩人である印南文作・矢板武氏他3名の墓所がある丘陵で、丘の東面にはアンズが植えられ、3月下旬～4月上旬に開花します。

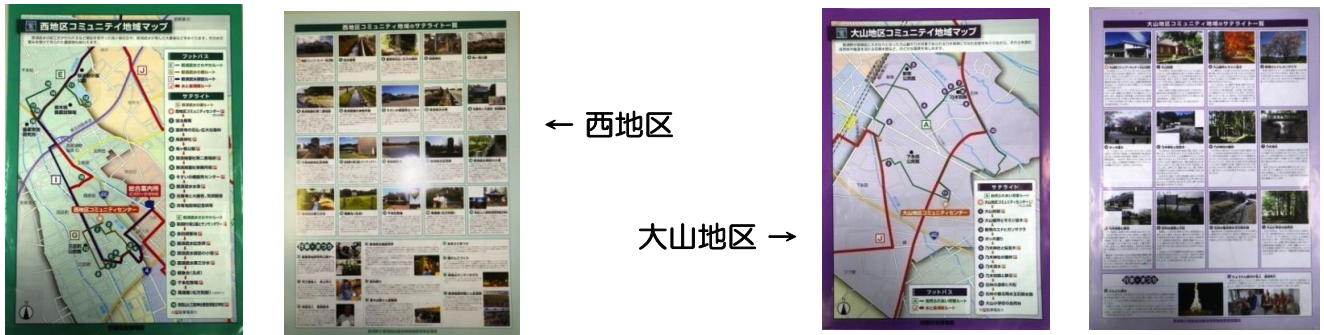
（南地区・二つ室）

3. サテライト地域マップについて

地域ごとのフットパス（巡回ルート）を示したサテライト地域マップを、それぞれ下記の公民館で配布しております。是非マップを片手にサテライトを訪れてみてはいかがでしょうか？

なお、マップは地域別に7種類あり、各公民館でそれぞれ管内のマップを配布しています。

配布場所 ※横林・接骨木地区のマップは西那須野支所産業観光建設課（運営協議会事務局）にて配布
西公民館、狩野公民館、三島公民館、西那須野公民館、大山公民館、南公民館、運営協議会事務局



4. フットパスについて

サテライトは前述のとおり、地域ごとにフットパス（巡回ルート）で結ばれ、ルートを巡って散策を楽しむことができます。なお、フットパスはルート沿いに建てられた道標に順路が示されています。

フットパスの一例：那須疏水さわやかルート（西地区コミュニティ）

那須野が原公園とサンサタワー → 赤田調整池 → 那須疏水記念碑 → 那須疏水探訪の小径（こみち） → 那須疏水第三分水 → 観象台（北点） → 千本松牧場 → 松方別邸 → 赤田山と三島神社奥宮母智丘神社



那須疏水探訪の小径



観象台（北点）



道標

5. 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会について

西那須野地区全域の6コミュニティ（西、狩野、三島、中央、大山、南）と、塩原の横林・接骨木地区（横接コミュニティ）からの選出者を主なメンバーとし、博物館の管理・運営を行っています。

6. 平成27年度の主な協議会の活動について

那須野が原公園にて、サテライト写真展開催（8月12日～19日）

会報「なすの大地」第26号発行（8月20日）

サテライト見学会開催（10月4日）

小学生サテライト絵画展開催（10月～2月）

第12回那須野が原ウォーク開催（11月21日）

写真展の様子



→4頁へ続く

◎特集 「臺沼用水と周辺のサテライトについて」

皆さんは市内の石林にある乃木神社の境内をきれいな水が流れているのを見たことがありますか？この水路は「**臺沼（ひきぬま）用水**」と呼ばれており、サテライトになっています。

臺沼用水は市内の臺沼地区の蛇尾川から取水し、県道折戸・西那須野線沿いを南下して高柳にあるにしなすの運動公園の脇を通り、線路を横断します。その後、乃木神社の境内を横切って大田原高校まで向かう石林の市道に沿うように大田原の市街地まで流れており、本幹水路は約19kmあります。特に神社から下流の水路には、昔ながらの玉石積みが多く残っており、昔の面影がしのべれます。

また、横接地区には臺沼用水沿いに多くのサテライトがありますので、そちらも併せて是非訪れてみてはいかがでしょうか？



乃木神社境内



石林下流の玉石積み

1 臺沼用水の頭首工



頭首工



旧取入口

臺沼用水の頭首工（水の取入施設）は、蛇尾川上流の萩平にあります。

関谷の国道400号と横断道路の交差点にあるコンビニから高林方面に向かい、蛇尾川を越えて初めての十字路を左折すると程なく「那須塩原市クリーンセンター」や砂利採集場が出てきます。この地の北方が「萩平」です。昔は30軒以上家がありましたが、崖崩れがあったり、仕事がなくなったりして他の地区に移住し、今は釣りや川遊びをする場所になっています。川の堰堤より100m下方の西岸に明治34年に国営工事で取入口が作られました。昭和53年（1978年）9月から翌年3月にかけて総合開発計画として改修工事が行われ、近代的な頭首工が完成し、その記念碑も建っています。

2 臺沼用水の変遷

(1) 横林5か村や大田原城下の飲用水路

臺沼用水は、初めは5か村（臺沼・折戸・上横林・横林・接骨木）の飲用水路として慶長年間（1596～1615年）に開削され、安永・天明年間（1772～1789年）にかけた開削で、西那須野東部井口・石林地区を経て、御用堀として大田原城下まで引かれました。大田原市の沼袋、旧日赤病院の近くでその流れを見ることができます。



分水記念碑

(2) 臺沼用水と松方正義

明治26（1893）年頃にできた千本松牧場は、那須疏水より高所にあるため疏水を利用できませんでした。そこで牧場主の松方正義（総理大臣や大蔵大臣を歴任）は、臺沼用水から分水路を作り、防火用水として使用しました。臺沼の分教場跡地には松方が書いた「分水記念碑」、地元の沼神社には青木周蔵のてん額による「疏水碑」が建立されています。



静沼

(3) 臺沼用水の改修工事と乃木家

明治34（1901）年、新しく取入口を設ける工事が国営事業（予算1500円）として行われました。この工事には地元臺沼の郡司鶴吉も測量に関わりました。彼に関する古文書が郡司家に残されています。この工事で西那須野の石林地区の用水も改修されることになりましたが、その工事費として石林地区に800円が割り当てられました。その内400円は地元住民27戸が捻出し、残り400円は地元住民のために乃木家が負担しました。冒頭のとおり、今でもその流れは乃木神社の境内を横切り、神社の裏手にある静沼の源水になっています。

3 臺沼用水沿いのサテライトについて



会津中街道一里塚

横接地区には17のサテライトがありますが、その多くは用水沿いに点在しています。その内の一つの「会津中街道一里塚」は、雑木林に埋もれていた一里塚を田園空間博物館事業で整備したものです。また、「那須疏水と臺沼用水の立体交差」では水の相互利用のため、那須疏水と用水が交差する様子が見られます。その他にも念仏石碑、温泉神社、八坂神社、常夜灯、会津中街道跡と道標、接骨木の一里塚等のサテライトがあります。

7. 第6回小学生サテライト絵画展について

①優秀作品について

那須野が原西部田園空間博物館の対象エリアになっている西那須野地区の小学校6校と横林小学校の高学年の児童を対象にサテライト絵画の募集を行い、全176点（西31点、三島5点、槻沢64点、東46点、大山6点、南15点、横林9点）の応募作品の中から、優秀作品16点（最優秀賞1点・優秀賞15点）が決定しました。

5会場で絵画展を開催し、対象エリア内のコミュニティにおいても、公民館等で絵画が展示されました。

最優秀賞



「烏ヶ森神社」

西小学校 6年 大類 風花さん

優秀賞

●西小学校（西地区）



「赤田調整池」
6年 臼井 美咲さん

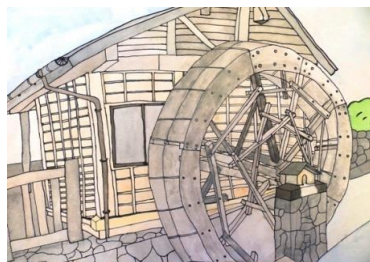


「第三分水」
6年 金田 あずみさん



「疏水郷の水車」
6年 久保 琴奈さん

●三島小学校（三島地区）



「那須疏水水車」
6年 田代 和香さん



「烏ヶ森神社」
6年 和氣 拓夢さん



「三島神社」
5年 岩瀬 泰斗さん

●槻沢小学校（狩野地区）



「遅沢の板倉」
5年 奥村 光希さん



「遅沢の板倉」
6年 谷口 航輝さん



「出釜湧水地」
6年 藤田 樹さん

●大山小学校（大山地区）



「乃木神社のこま犬」
5年 小笠原 優人さん



「静沼の絵」
5年 手塚 智哉さん



「大山公園」
6年 緑川 輝玲さん

●東小学校（中央地区）



「那須塩原市西那須野庁舎」
6年 高橋 碧さん

●南小学校（南地区）



「なんじゃもんじゃ」
6年 伊藤 凜さん

●横林小学校(横接地区)



「接骨木の一里塚」
6年 齋藤 めぐみさん

②展覧会会場および入賞者表彰式の開催について

本年度は10月に西那須野産業文化祭、11月になすしおばらまなび博覧会及び栃木県庁展望ロビー、1月中旬に那須野が原博物館エントランスホール、1月下旬より那須野が原公園緑の相談所展示ホールと5つの会場で展覧会を開催いたしました。

1月23日に田園空間博物館総合案内所（那須野が原博物館）の研修室において、入賞者の表彰式を開催し、松本忠太会長が賞状と副賞を授与しました。



西那須野産業文化祭会場



なすしおばらまなび博覧会会場



那須野が原公園 緑の相談所



表彰式の様子

8. サテライト見学会について

平成27年度のサテライト見学会を10月4日（日）に開催いたしました。

まず最初に石林の乃木清水の清流を見学し、次に津室川湧水地を訪れましたが、あいにく当日は水量が多すぎて歩道まで冠水し、入り口までしか見学出来ませんでした。

その後は観象台北点を経て、市内曇沼にある蛇尾川ダムを見学しました。満々と水を湛えたダムは、碧く輝き雄大な景観を生み出していました。なお、こちらは通常は見学できない場所ですが、今回は東京電力様に特別の許可をいただき、ダムの発電所について解説もいただきました。

その後、那須野が原公園にてサンサタワーに入場後、昼食休憩。赤田調整池にて、那須野ヶ原土地改良区連合の職員の方の解説を受け、移動して松方別邸や大山別邸を見学した後、大田原市の実取にある観象台南点を訪れました。ここは千本松の北点と対になっており、この2点を結んだ線が、明治時代に実施され全国三角測量の先駆けになった関八州大三角測量の基線になりました。

最後に西那須野庁舎時計塔に入場し、終了となりました。



9. 第12回那須野が原ウォークについて

平成27年度の那須野が原ウォークを11月21日（土）に開催いたしました。

那須野が原ウォークは、那須野が原公園や千本松牧場周辺のサテライトを徒歩で巡る催しで、今年は天候にも恵まれ、過去最高の127名の方にご参加いただきました。

主なコースとしては千本松牧場の敷地内にある松方別邸を見学、その後探訪の小径をたどって周辺のウォーターパークやガラガラ水車等の発電施設を見学。次に栃木県畜産酪農研究センターのモミジ並木を經由して、赤田調整池を見学。その後はサンサタワーから紅葉の那須野ヶ原を一望して、ゴール。抽選会を開催し、商品券やお米、公園プール招待券などが贈呈されました。

コース周辺には紅葉の見所が多く、開催時期には例年見事な色彩に包まれます。来年も市広報などで参加者を募集する予定ですので、ぜひご参加ください。



那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇問い合わせ先◇

TEL 0287-37-5108（那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内）

◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkoo/>

※当誌は那須塩原市の公民館でも配布しておりますので、入手を希望される方は各公民館までお問い合わせください。